

軍書校察

球七八三六部隊
北守備隊防衛訂田

五
大

北守備部隊

長
印

獨混十五第一大隊防衛計画

方針

水野

東

大隊第三中隊欠一八地區隊ノ守備隊トナリ伊計島南
端——大久保ノ線ヨリ直津榮田——島ノ線ニ亘ル地區ノ
防衛ニ任ズ

三浦

國頭守備隊ト、戰鬥地境ハ伊計島北端——城原
——熱田原南端ノ線トス

伊波——東恩納、地區ニ守備ノ重責ヲ保持シ極力敵
ノ上陸企圖、破摧ニ勤ム

狀況ニ依リ全カヲ以テ海岸線ニ反撃手シ敵ヲ水際ニ

撃滅ス

尚・状況真止ムヲ得サル場合ハ複廓陣地ニ據リ

死守ス

敵着シ西海岸ニ上陸ラ企圖セバ直チニ各方面機動ス



指導要領



一 各期ヲ通シ彈藥糧秣ノ計画的節用ニ勉メシム

第二期(戦斗準備期間)

先ヅ速カニ前進陣地ヲ構築スシテ然ル後主陣地帯ノ

構築 複廓陣地ノ構築 交通壕ノ構築ト速ニ
補備増強ス

工事ハ村民ノ協力ヲ許シ其ノ完了時期ヲ八月末日ト
予定ス

況ニ戦場ノ戦斗就中火力ノ組織的昇揚積極
深刺タル各種欺騙動作及挺進奇襲 夜間戦

斗ニ就キ反復訓練シ防禦ニ自信ヲ得ルニ至ラシム
此期間志氣ノ日功揚軍紀風紀ノ振肅ニ関シ各種
手段ヲ講ジ以テ戦力ノ培養ニ勉メシム

第三期(前進陣地ノ戦斗)

極力砲隊及歩行機ニ依ル砲(銃)爆撃ヲ指目口ヲ速
ク敵ノ舟艦移乗後射程ヲ延伸スル時機ヲ神速ニ

利用シテ射撃手位置ニツキ水際ニ之ヲ撃テ滅ス

第三期(主陣地帯ノ戦斗)

極力混戦ヲ避ケ予メ計画セル所ニ從テ指揮管ヲ統一
指揮ノ許ニ整々ト行動シ各個ノ戦斗ニ臨ラサル如クス
持ニ石川附近ハ對戰車戦斗ノ重要トシテ堅固ナル對戰
車設備ヲ施設シ至近距離ニ之ヲ撃テ摧ス
挺進隊ヲ斥テ知ク準備ス

第二中隊第一機関銃中隊ヨリ將校ヲ長トスル各一組
(長以下五名)及第一中隊持設敬言備小隊ヨリ下士官
ヲ長トスル各一組(長以下三名)

第四期(複廓陣地ノ戦斗)

状況直止ムヲ得サル場合各隊ハ八隊命令ヨリ複

廓陣地ニ轉移シ最後迄積極果敢 聖戦烈ナル
團結カト必勝ノ信念トヨリ激撃ヲ滅ニ邁進ス

軍隊區分及任務

一 第一中隊(代号「一層」)ヲ斥第一線中隊トシ一部ヲ金武
村及因納村ニ派遣シ金武灣ノ口及西海山岸ヲ敬言或セ
シムルト共ニ主力ハ仲泊南側地區及伊波——吉布手川ノ
地區ニ據ル南側地區ニ各々據拠式陣地ヲ構
築セシム

尚ヨ石川岳附近ニハ堅固ナル前進陣地ヲ石川村ニ偽陣
地ヲ夫々構築セシム

二 第二中隊(代号「二層」)ヲ斥第二線中隊トシ東恩納東側——△91ニ亘



東野

取間及竹内近ニ夫々堅固ナル陣地ヲ構築ス

東恩納東野海岸線

東恩納東野海岸線ニ堅固ナル前進陣地ヲ

三 第一中隊ヲ以テ第一中隊一部ヲ以テ

四 特設警備小隊ヲ現駐警ヲ續行セシムル後予備

其間第二中隊ノ一々小隊ヲ大隊本部ノ陣地構築

五 第一中隊ノ戰鬥地ヲ近知シ

以上ハ右ニ屆ス

速射砲中隊及野隊砲中隊ハ守備隊ノ戰鬥
ニ助カスル爲メ一部ヲ以テ第一中隊主力ヲ以テ
第二中隊ノ戰鬥ニ協同シ得ル如ク陣地ヲ構築

（細部ハ直接指示ス） 第一大隊長 野崎大尉

配布先 各中隊特設警備小隊

報告通報先 聯隊本部 國頭地込隊

東守備隊 西守備隊
聯隊砲中隊 速射砲中隊

Vertical text on the right page, likely bleed-through from the reverse side. The text is mostly illegible due to fading and bleed-through.

一大作命 第二號

大政命令

門 昭 五 七 三 五 五 司

- 一 既隊ハ今夜川南ニ向ヒ轉進ヲ命ゼラル
- 二 大隊ハ主力ヲ以テ今夜川南ニ向ヒ轉進ス
- 三 各隊ハ所要ノ人員ヲ残置シ(別表ニ示ス)今夜十二時マテニ門司港第二岸壁ホトムニ集合スベシ
- 四 各隊ノ個人裝備(兵器、被服、全部及器具)残置人員ノ用懸テ(含ム)ヲ携行スベシ
- 五 余ハ[]時四十分第二號岸壁ホトムニ在リ

別

表

集 報

計	才中隊	才中隊	才中隊	才中隊	本部	將校下士官	人員
20	3	4	5	4	4		第一回輸送人員
67	8	18	17	18	6		殘置人員
28	42	78	77	76	14		人員
37	53	100	99	98	24		人員
2					2		人員
5		1	1	1	2		人員
98		31	32	33	2		人員
10		32	33	34	6		人員

第一大隊長

野崎大尉

下達法 命令受領者ヨリ集合セシメテ口達筆記後印刷配布
 報告先 隊本部

一大作命第三號

大隊命令

第一九七五二四〇

- 一 大隊ハ陸航輸送作命甲第五〇一號ニ依リ新田原ヨリ那覇ニ向ヒ空輸ニ依リ前進セントス
- 二 本部各隊ハ輸送部隊ノ計画ニ依リソノ都度本部ヨリ指示スル時間及塔乗已分ニ依リ飛行場ニ集結シ輸送部隊ノ指示ニ從ヒ沖繩北飛行場ニ向ヒ前進スベシ
- 三 目的地ニ到着セバ遠次需手網 農林學校ニ集結スベシ

四、余ハ飛行才ニ小隊才三次輪送ニヨリ沖繩ニ向
上前進ス

第一大隊長 野崎大尉

下連法 要旨ヲ傳ヘ後印刷並布

既布先 旨 中 隊

報告先 職 隊 手 部

一六作命第四號

大隊命令

昭五七二〇九



八隊(第三中隊欠)ハ地區隊、北并浦隊トナリ伊計

南端——大久保ノ線ヨリ奥奈因——船ノ線ニ直ル

區、南端ニ住ル

伊波守備隊、~~伊波守備隊~~ハ伊計島——城原——

田原南端ノ線トス

伊波——南恩納——中極ニ守備、重要ヲ保持シ極

敵ノ上陸全圖被推ニ勉ム

概況ニ依リ全カラ以テ海岸線ニ反敵テシテ敵ヲ水陸

兼テ滅ス

敵ノ主カヲ以テ西海岸線上陸ヲ企圖セシムルニ同才

第一中隊(大号)一隊ハ左第一線中隊トナリ一隊ヲ

金武村及恩納村ニ流遣シ金武灣口及西海岸線

地帯並ニ各草原南側地區ニ各々據置テ備置スベシ

尚●石川岳附近ニハ堅固ナル前進陣地ヲ石川村ニ備

陣地ヲ構築スベシ

三 第三中隊(大号)一隊ハ東恩納東側トシテ巨川間

及●石附近ニ大々堅固ナル據置式陣地ヲ構築スベシ

尚●東恩納南側海岸線ニハ堅固ナル前進陣地ヲ構築

四 第一機関銃中隊ハ主ガヲ以テ第三中隊一部ヲ以テ第一

中隊ニ勝カシ得ル知ク大々陣地ヲ構築スベシ

五 持設敬言備小隊ハ責任者ヲ備行シタル後ヲ備隊タル

其ノ間第三中隊ノ一々小隊ハ大隊本部ノ陣地構築ニ在

スベシ

第六 第一線中隊ノ陣地構築ノ如シ

△220.2 — 伊波南端 — 石川村東側三〇〇米三叉路
線上ハ右ニ屈ス

七 連射砲中隊及輕隊砲中隊ハ守備隊ノ戰鬥ニ協力
スル場合ハ一部ヲ以テ第一中隊主力ヲ以テ第二中隊ノ戰
斗ニ協同シ得ル如ク陣地ヲ構築スベシ

(細部ハ直接指示ス)

（一）
（二）
（三）
（四）
（五）
（六）
（七）
（八）
（九）
（十）

八 各隊ハ地才住民ヲ極力協力セシメ先ヅ速カニ前進陣地
ノ構築ニ任ジ而ル後據身陣地ヲ構築スル共ニ担任地
域ノ沿岸ニアル樹木ヲ以テ海中ニ防材ヲ施設スベシ
工事完成ハ八月中旬ト予定ス

九 第一機関銃中隊ハMGニテ展開シ必要ノ最少人員ヲ常
時對空射撃ニ任ジ得ル如ク準備スベシ

一〇 奈ハ伊波國民學校ニ在リ

第一大隊長 野崎九尉

下達法

命令受領者ヲ集會セシメ印刷交付

配布先

右中隊 特設警備隊

報告先

聯隊本部



一大作 命 第五號

東 北 守 備 隊 命 令

昭一九二一。



一 大隊 (才中隊、機用隊、分隊缺、持設警備小隊層)

ハ 明 午 日 早 朝 爾 後、作 戰 備、夫 々 目 的 地 面
上 軌 進、セントス

二 第一中隊、第一機用隊、中隊 (分隊缺) ハ 尤
々 中 隊 長、指 揮、以、上、官、署、而、國、民、總、務、院、商、工、
前 進 爾 後、行 動、軌 移、ス、

第三中隊 (ハ 小隊) ハ 中 隊 長、指 揮、以、上、天、願、國
民、總、務、院、商、工、前 進、爾 後、行 動、軌 移、ス、



四 爾餘、諸隊ハ八隊副官、已處ニ依リ伊波部
 口渚ニ向テ前進シ爾後、行動ニ轉移スベシ
 五 大隊戰進、夕ノ暮合自動車ニ台トラック一台ヲ
 利用ス之ガ利用ニ就キテ八隊副官已處スベシ
 六 給養ニ就キテハ高木主任中尉已處スベシ
 七 余、明十一日十三時伊波國民學校ニ在リ

第一大隊長

野崎大尉

下等法 命令受領者ヲ集合セシメ口邊筆記後印刷部
 配布先 希中隊持設警備小隊
 報告先 隊本部

一大作命第六號

北守備隊命令

昭和二十七年三月

一 帝國在郷軍人會沖繩支部ハ管内ニ防衛
 隊ヲ編成セリ旅團ハ作戰ニ當リ之ヲ指揮ス
 二 守備隊ハ担任地區内ニ在ル防衛隊ノ教育
 訓練ヲ指導并補助シ之ガ戰力ノ充實ヲ期セシ
 三 金武中隊ヲ以テ金武岬ノ防備ニ因テ細中隊
 以テ恩納村沿岸ノ防備ニ各々任ゼシメ戰士

一進涉ニ伴ヒ石川村ヲ確保セシム
美里中隊ハ天額以其海岸ノ直轄隊備ニ任テ
シム

四金武中隊・恩納中隊ト協定第一中隊長兼美
里中隊長ト協定第二中隊長任スヘシ
五余ハ伊波國ノ元帥トシテ
廿三師隊長 崎九尉

下導法 命令受領者ヲ印刷文付

西布先各中隊特設警備小隊
報告先務隊本部

一大作命 第一師團長

東京備隊命令

廿三・二二

一 天應法員全隊警備隊ヲ編成シテ美里海岸ヲ警備スル
附近ニ集結スル敵軍ヲ監視ス

二 警備隊ニ取替ヘテ警備隊トシテ石川村公會堂ニ於テ中隊長
ヲ以テ集結シテ大作命令ヲ受領スル事ヲ指示ス

二 着テスヘシ

三 持設警備小隊ハ石川村長官所屬隊トシテ現任務ヲ履行ス
全隊大隊機庫等ニ於テ機材等ヲ保管スル事ヲ指示ス

四 第一中隊才下小隊ハ依然金武村ニ於テ現任務ヲ履行ス

五 各中隊長員等皆警備隊員トシテ所屬人員ヲ警備スル事ヲ
六 予ハ伊波國元帥トシテ

一 進歩ニ伴ヒテ... 保護セシム
美里中隊ハ天顏以其海岸ノ直接防備ニ任セ

シム
四 金武中隊・恩納中隊トノ協定ハ第二中隊長美

里中隊長ト協定ハ第一中隊長任スヘシ

五 余ハ伊波國... 野崎九尉

北中隊長

下連法 命令... 印刷文付

配布先 各中隊特設警備小隊
報告先 務隊本部

一大作命 第一中隊長

野崎大尉

東守備隊命令

其三三一三

一 天願法... 伊波國国民學校ニ於テ

二 伊波國国民學校ニ於テ... 伊波國国民學校ニ於テ

三 持設警備小隊ハ石川村養老所... 現任務ヲ續行シ

四 才一中隊才一小隊ハ依然金武村ニ於テ現任務ヲ續行スヘシ

五 各中隊長... 所要人員ヲ先登セムヘシ

六 予ハ伊波國国民學校ニ在リ

指示ス

六、所ニ母族國兵總隊ヲ編成シテ、八回編制備三任セ
ル。物ヲ母族ノ四ノ日設法、ソノ在船ノ眼ニテ母族ヲ以テ、
母族ノ母族ヲ以テ母族ノ母族ヲ以テ、母族ノ母族ヲ以テ、

三、母族ノ母族ヲ以テ、母族ノ母族ヲ以テ、母族ノ母族ヲ以テ、
母族ノ母族ヲ以テ、母族ノ母族ヲ以テ、母族ノ母族ヲ以テ、

二、母族ノ母族ヲ以テ、母族ノ母族ヲ以テ、母族ノ母族ヲ以テ、
母族ノ母族ヲ以テ、母族ノ母族ヲ以テ、母族ノ母族ヲ以テ、

一、母族ノ母族ヲ以テ、母族ノ母族ヲ以テ、母族ノ母族ヲ以テ、
母族ノ母族ヲ以テ、母族ノ母族ヲ以テ、母族ノ母族ヲ以テ、

第一大隊長 野崎大尉

下達法 命令受領者ヲ集メテ口達筆部後印刷配布

配布先 各中隊持設隊首備小隊
報告先 親隊本部

六、以二時段國兵總隊 在二時段
四、物中隊ヲ四時段 留泊ニシテ在隊入隊ニシテ在隊カスル
五、長中隊ヲ二時段 留泊ニシテ在隊ニシテ在隊カスル
留泊

三、左隊隊首ヲ二時段 留泊ニシテ在隊ニシテ在隊カスル
ニ、右隊隊首ヲ二時段 留泊ニシテ在隊ニシテ在隊カスル

一、左隊隊首ヲ二時段 留泊ニシテ在隊ニシテ在隊カスル
二、右隊隊首ヲ二時段 留泊ニシテ在隊ニシテ在隊カスル

一、左隊隊首ヲ二時段 留泊ニシテ在隊ニシテ在隊カスル
二、右隊隊首ヲ二時段 留泊ニシテ在隊ニシテ在隊カスル

一大隊命令第八號

東洋備隊命令

伊 三五〇八號

一、左隊隊首ヲ二時段 留泊ニシテ在隊ニシテ在隊カスル
二、右隊隊首ヲ二時段 留泊ニシテ在隊ニシテ在隊カスル

三、各隊、陣地附近ニ於テ、射撃、砲撃、手榴彈、格闘
四、各隊、陣地附近ニ於テ、射撃、砲撃、手榴彈、格闘

五、各隊、陣地附近ニ於テ、射撃、砲撃、手榴彈、格闘
六、各隊、陣地附近ニ於テ、射撃、砲撃、手榴彈、格闘

東洋備隊長

野崎大尉

下等兵、上等兵、後中隊、文付
野崎大尉

禮記卷之九

祭義

祭者，所以通人與神之

也。人與神，不可以不通。

通則和，不和則怨。

和則國治，怨則國亂。

故君子必先慎乎禮。

禮，天之經也，地之義也，